

まちづくりの問題点・課題について（公開勉強会・市民ワークショップにおける意見）

1. むつ市都市計画マスタープラン 公開勉強会

(1) 第1回公開勉強会

日 時：平成21年2月21日(土) ①②10:00～12:00 ③15:00～17:00

場 所：①大畑地区：大畑公民館（大広間）

②川内・脇野沢地区：川内公民館（大集会室）

③むつ地区：下北文化会館（視聴覚教室）

内 容：〔テーマ1〕都市計画とは？

〔テーマ2〕むつ市の都市計画の状況

〔テーマ3〕データからみたむつ市の状況

〔テーマ4〕市民アンケート調査の結果

【主な意見】

1) 都市計画マスタープランの進め方、検討内容について

ご意見	会場	回 答
公開勉強会を開催して、市民から聞いた意見は計画に反映されるのか。	大畑	マスタープラン策定に向けての検討を進めていく上で、参考とさせていただきます。また、検討の結果、反映できなかった意見については、その理由等を示す予定です。
次回の勉強会の内容は。次回の資料に20年後の人口、産業の見通しを出して欲しい。	大畑	都市の将来像と住民参加について、今回の勉強会のテーマとさせていただきます。 20年後の人口、産業の見通しはマスタープランに定める事項ですので、今後、検討を進めていく段階でお示しします。（現在の作業は検討まで至っていません）
アンケート調査の対象者はどのようにして決めたのか。	川内脇野沢	アンケート対象者は、地区ごとの人口比率を参考に、無作為抽出しています。
合併後の市全体を対象としているのか。	むつ	都市計画区域を基本としますが、市全体を対象とした将来像を作成します。
中心市街地活性化基本計画との関連はどうなるのか。	むつ	都市計画マスタープランは、中心市街地活性化を位置づける上位計画ともなります。
将来、人口が減少し、産業も衰退することが予想される中で、計画ではどのような将来像を描くのか。	むつ	現状を認識して将来像を検討していきます。しかし、将来の夢もプランに盛り込んでいく必要があると考えます。
逆に20年前はどのような状況だったかを把握して検証するべきである。	大畑	データが収集できるものについては、概ね20年前からの変化がわかるよう整理していきます。一部、本日の資料を参考にしてください。
20年先の将来像といっても、時代の流れは速いので常にマスタープランを見直す必要がある。	大畑	時代の流れに沿うよう、将来、必要に応じて見直していく考えです。
官民一体となってまちづくりを進めるべきであるが、民間の意見だけ聞いて、市の考え方が示されていない。	むつ	今後、対応を検討していきます。
将来の人口減、高齢化を踏まえたプランづくりが必要である。	むつ	今後の検討、プラン策定の参考とさせていただきます。

ご意見	会場	回答
合併時に策定されたまちづくりの計画を検証する必要がある。計画が違ってきていると思う。	川内脇野沢	新市建設計画や総合計画等の上位計画の内容を踏まえて、プランづくりを進めていきます。
これまでに策定された計画にある将来像を、今後の計画に継承していくべきである。	川内脇野沢	

2) 会議の進め方について

ご意見	会場	回答
総合計画の説明はしないのか。	むつ	本日のテーマ2の資料として、概要をご案内します。
今後はテーマを決めて意見交換するのか、今回のように自由討議となるのか。	むつ	テーマを決め、テーマに沿って意見交換を進めていきます。
このような勉強会にもっと多くの住民に参加してもらおうよう、各団体へのPRなどの工夫が必要である。	川内脇野沢	今後とも、住民の皆様にご意見をうかがう機会を継続していく方針です。 進め方やお知らせの方法については、事務局内部で検討中です。
意見交換の日時は事前に市政だよりなどで広報すべきである。	大畑	
むつ出身者の意見を聞く機会を設けるべきである。	大畑	
今回の公開勉強会のように十分意見を聞く時間を設けてもらうことは大変有意義だと感じた。	大畑	
市都市計画課のホームページによるお知らせだけでは見られない人が多い。情報は市政だよりなども使って広報すべきである。	むつ	

3) 都市計画の制度について

ご意見	会場	回答
準都市計画区域はどの程度の範囲まで指定することが可能なのか。	川内脇野沢	都市計画区域外のある程度の集落が集まっている区域や、道路整備などによる今後の市街化が予想される区域などが対象となります。規模要件は特にありません。
次回の勉強会の内容は、次回の資料に20年後の人口、産業の見出しを出して欲しい。	大畑	今回、都市の将来像と住民参加について、テーマとさせていただきます。 20年後の人口、産業の見出しはマスタープランに定める事項ですので、今後、検討を進めていく段階でお示しします。
用途地域の使われ方について、他市の状況と比較したい。例えば用途地域に住んでいる人口による一人当たり用途地域面積。	むつ	本日の資料を参考にしてください。
準防火地域に建てられる建物は何かで決まっているのか。	大畑	建築基準法により定められています。本日の資料を参考にしてください。

4) 市の現況や過去のまちづくり等について

ご意見	会場	回答
若い人たちは田名部地区と大湊地区の違いが分からない。アンケートの回答に困っていた人がいた。	川内脇野沢	今後の検討、プラン策定の参考とさせていただきます。
昭和 30 年代までは脇野沢地区にも都市計画区域が指定されていた。	川内脇野沢	
過去のまちづくりの計画が進んでいない。市の施策が実行されていない。	むつ	
用途地域内の空地が多い。	むつ	
農地があっても、むつ市内にその農地を使う人がいない。	川内脇野沢	
道路がなかなか広くならない。	大畑	
公園等を整備してもあまり利用されていないので、費用対効果を考えて欲しい。	大畑	
川内病院が診療所になってしまい、病院はむつ中心部まで行くことになった。中心部に行く路線バスが不便である。	川内脇野沢	
川内地区でも実際に就業先が減っていると感じる。	川内脇野沢	
下水道事業がなかなか進んでいない。	むつ	
都市計画道路 3・5・8 が計画決定後 40 年整備されていない。鉄道軌道敷跡地を活用するなど、整備早急に進めて欲しい。	むつ	今後の検討、プラン策定の参考とさせていただきます。
長期に渡って整備されていない都市計画道路がある。	むつ	長期間未整備な都市計画道路については、廃止も含めた計画の見直し検討をする必要があると考えます。都市計画マスタープランで方向性を示し、これを踏まえて別途詳細な調査検討を行う流れになります。

5) 将来像についてのご提案について

ご意見	会場	回答
国道バイパスの外側に市街地が広がるようにならないか。	大畑	今後、プランの検討を進めていく上でのご意見とさせていただきます。
幹線道路整備して下北の観光ルートを周遊型で作るべきである。	大畑	
下北縦貫道を早期整備し、観光に役立てて欲しい。	大畑	
大畑川について防災面から水害対策として堤防整備をして欲しい。川の水が逆流しないようなものも考えて欲しい。	大畑	

ご意見	会場	回 答
市の発展、人口減少を防止するためには集客施設を整備し、若い人々が入り出すことが必要である。例えば、大学、病院等の医療機関などが挙げられる。	川内脇野沢	
むつ市は下北半島の拠点都市であるためには、周辺の大間、六ヶ所等も巻き込んでいくようであればならない。原子力半島(アトム計画)を進めるべきである。	川内脇野沢	
むつ病院は広域的な医療の拠点になるので、周辺に関連する医療・福祉の機能を充実すべきである。	川内脇野沢	
地区内に観光資源はいっぱいある。観光コースとして十分に活用されていないのでPR方法に工夫が必要である。	川内脇野沢	

6) ご要望・その他

ご意見	会場	回 答
大畑地区の都市計画道路について、路線名だけでなく、どこからどこまでの道路か、起点終点を教えて欲しい。	大畑	本日の資料を参考にしてください。
都市計画道路の路線名だけではどこを走っている道路か分からない。分かりやすい資料を提供してもらいたい。	大畑	

(2) 第2回公開勉強会

日 時：平成 21 年 3 月 14 日(土) ①②10:00～12:00 ③15:00～17:00

場 所：①大畑地区：大畑公民館（大広間）

②川内・脇野沢地区：川内公民館（大集会室）

③むつ地区：下北文化会館（視聴覚教室）

内 容：〔テーマ1〕 現況データについて

〔テーマ2〕 将来像（上位計画、アンケート）

〔テーマ3〕 住民参加のまちづくり

【主な意見】

1) 都市計画マスタープラン策定の進め方、検討内容について

ご意見	会場	回 答
上位計画に前回の都市計画マスタープランを入れる必要はないのか	大畑	上位計画は、長期総合計画となります。旧むつ市、旧大畑町の都市計画マスタープランは、今回策定するマスタープランの土台となるものです。これらに、皆様のご意見、ご提案等を検討し、必要な改定を加えて策定されることとなります。
都市計画マスタープランは今後どれくらいでまとまる予定なのか	大畑	平成 22 年 3 月までに策定する予定です。
都市計画マスタープランの将来像は市全体を対象とした将来像なのか	むつ	都市計画マスタープランは、都市計画区域を対象とするのが原則です。しかし、むつ市は市町村合併によって新むつ市が誕生しており、新市としてはじめてのまちづくりの方向性を示すことが本都市計画マスタープランの役割の1つであります。 このような考え方から、都市計画マスタープランでは、新市全体の将来像を策定するものです。
都市計画マスタープランは中心市街地活性化を位置づける計画なのか	むつ	市内の住居系、商業系、産業系における将来の土地利用の方向性を、都市計画マスタープランで位置づけます。中心市街地活性化については、中心市街地活性化基本計画の中で位置づけされることとなります。
市民サイドで都市計画マスタープランを作成したらどうか	むつ	市民と行政の協働によりマスタープランを作成していきます。このため、これから始める市民主体による「陸奥の国まちづくりワークショップ」等によって、市民の皆様のご意見等を伺っていき、意見を反映できるように進めていきます。
行政が作った計画に基づくのではなく、住民が作った計画に沿ってまちづくりを進めていくべきである	川内・脇野沢	
策定委員会の設置時期はいつ頃を考えているのか	むつ	現在、各種団体等より委員を選出していただき、このワークショップでの意見等を踏まえ、策定委員会で検討するために、設置準備を行なっております。
前回の都市計画マスタープランのフォローアップをしてほしい	むつ	旧むつ市、旧大畑町の都市計画マスタープランは、経年変化を踏まえて、必要な改定を加えて策定されることとなります。
上位計画の表がみづらいので具体例を示してほしい	大畑	マスタープランのとりまとめ時に再整理します。
都市計画マスタープランの策定には基本理念と詳細な基本データが必要である	むつ	基本理念は、むつ市長期総合計画等のまちづくりの上位関連計画を踏まえるとともに、市民の皆様のご意見を伺ったうえで設定します。基本データを分析することにより、まちづくりの課題を把握していきます。そのために、必要なデータを収集していきます。
現況データの表等はそこから何がみえるのかを明示してほしい	大畑	

ご意見	会場	回答
地域の重点課題を決めて提案してほしい	大畑	課題等については、統計的データ、市民アンケート及びワークショップ等における市民のご意見を踏まえて抽出していきます。地域ごとの重点課題の設定については、マスタープラン策定の参考とさせていただきます。

2) 会議の進め方について

ご意見	会場	回答
ホームページで住民懇談会を中止して当勉強会になったが、またそれを修正して住民懇談会を開催するのか	むつ	先日の住民懇談会は、応募人数が少数であり組織として成り立たなかったため中止させていただきました。その後開催しました2回の勉強会において多くの方々に参加いただき、まちづくりへ関心を持っている市民の方が多くいらっしゃる状況がわかりました。このような経過を経て、改めて今日のワークショップによる市民の意見交換の場を設定いたしました。
住民アンケートが30%の回収率だが住民参加型のまちづくりが可能なのか	むつ	郵送による配布回収のアンケート調査では、一般的に回収率30%が最低限の目安とされており、今回のアンケートも回収率30%超を目指していました。より多くの皆様からの意見等を頂戴したいと考えておりますので、次回以降のワークショップには、ご近所の皆様をお誘い合わせのうえご参加くださいますようお願いいたします。
この勉強会に文章で意見を出してもよいのか	むつ	都市計画課ホームページで、意見を書き込めるようになっております。また、それ以外の方法でも都市計画課でご意見等を伺うことは可能ですが、間違えがないよう必ず書面にてお願いします。
勉強会やワークショップについて、事務局で素案などを提示しないと意見を出しづらく、なかなか参加者が集まらないのではないのか	川内・脇野沢	今後も、多くの市民にまちづくりへ参加して頂けるよう、事務局としても進め方等を検討していきます。ワークショップを開催するうえでのご意見として、参考にさせていただきます。
ワークショップを開くのであれば偏った意見ではなく、幅広い意見を集約してほしい	むつ	ワークショップではテーマを決め、テーマに沿った意見交換をして頂くことを考えています。ワークショップは、新市としての方向性を見出すために全体で実施いたします。マスタープランは、全体構想、地区別構想から構成されておりますので、ワークショップではそれに合わせた形で進めていく予定です。
住民の意向を聞き出す工夫をしてほしい	大畑	
現状のままでは人が集まらないと思うので、集客方法を考えてほしい	大畑	
ワークショップの開催方式は全体で行うのか、それとも地区ごとで行うのか	大畑	
ワークショップを開催する際には、できるだけ細かく地区分けしたグループ編成を検討してほしい	むつ	
ワークショップの参加者を増やす方法としては、町内毎に開催することも一つの方法ではないか	大畑	
策定委員も勉強会に参加し、できるだけオープンにするべきである	むつ	今後の会議等の進め方に対するご意見として、参考にさせていただきます。
人数を限定し、資料を事前配布してほしい	大畑	

3) 都市計画の制度について

ご意見	会場	回答
市街化調整区域のあり方について考えてほしい	むつ	土地利用や建築行為を計画的に規制・誘導していくために有効な制度であると考えられ、プランの検討を進めていく上でのご意見とさせていただきます。ただし、区域区分は市単独の考えでは行えず、県との調整が必要となり、実現に向けた様々な検討・調整・協議を経ていく必要があります。
デマンド交通とはどういったものか	大畑	自宅から目的地まで、乗合バスやタクシー等による送迎サービスを行う制度です。事前に乗車される時間、場所を予約することによって、バス路線やタクシー乗り場のない場所にも公共交通をサービスできることとなります。高齢者などの交通手段が制約される方々、路線バスが廃止された地域等に公共交通をサービスする有効な方策として、全国各地で導入が進められています。
公共下水道と環境公共下水道との違いは	大畑	公共下水道とは、主として市街地内の下水を排除（又は処理）するために地方公共団体が管理する下水道を言います。 環境公共下水道（特定環境保全公共下水道）は、農村や漁村の大きな集落、温泉地、観光地などにおける生活環境改善、河川、湖沼などの水質汚濁を防ぐ目的として下水道整備ができるようにしたもので、公共下水道と同じく主として地方公共団体が管理する下水道です。

4) 市の現況や過去のまちづくり等について

ご意見	会場	回答
都市計画道路3・5・8については廃止を含めた検討ではなく、前向きな整備を検討していただきたい	むつ	今後の検討、プラン策定の参考とさせていただきます。
大畑地区の担う役割としてはむつ地区のベッタウンではないのか	大畑	
地区ごとに産業の特性があるのではないのか	むつ	
地区内に観光資源は確かにあるが、それを活かして地域を活性化させようという動きはあまり見られない	川内・脇野沢	
現行の用途地域が現実離れしているので、用途地域の見直しは賛成である	むつ	
高齢化については重要視してほしい	むつ	
都市計画マスタープランに今後予想される人口減少、高齢化をどのように踏まえていくのかが重要である	川内・脇野沢	
むつ市の将来像は上位計画にすでにあるが、これらから後退するような将来像では意味がない	むつ	
地元に農業以外の職場が少なく、若い人たちが地元に戻ってこない状況であるが、地区では主な産業である農業、林業に力を入れている	川内・脇野沢	
川内・脇野沢は田名部・大湊地区と比べて地域格差がある	川内・脇野沢	
長期総合計画等で実行されたものはあるのか。長期総合計画の策定から1年経過しているのので、できる事業は開始してほしい。	大畑	むつ市が行っているあらゆる施策は、むつ市長期総合計画に則しているものであります。

2. 第1回 陸奥の国のまちづくりワークショップ

日 時：平成21年6月20日(土) 14:00～16:00

場 所：下北文化会館2階大集会室

内 容：[ワークショップのテーマ] むつ市の良いところ、悪いところ

【主な意見】

項 目	良いところ	悪いところ
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○土地が広く、安い地価で手に入れることができる ○閑静である 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ごとの商業拠点が無い ○コンパクトシティが望ましい ○住宅市街地が空洞化している ○中心市街地が衰退している ○土地区画整理事業が行われていない ○土地利用が整序されていないため行き止まり道路が多い ○土地利用の規制が厳しい、独自の考え方があってもよい ○都市計画区域、用途地域はむやみに広げなくていい
中心市街地		<ul style="list-style-type: none"> ○中心市街地が消滅している ○商店街がバラバラになっている ○商店街が空洞化している ○商店街がシャッター通りとなっている ○若者の遊戯施設がないため、休日等は市外へ人がながれている ○田名部駅が無くなってから、田名部商店街が低迷している ○田名部駅が無くなって街が変わった ⇒次回以降の検討事項として「中心市街地はどこか？」が挙げられた
産業 (農業・商業・工業)	<ul style="list-style-type: none"> ○海洋科学研究所がある ○自衛隊がある ○日本列島の本州の最北端市で、原子力の拠点都市である ○第1次産業では水産業がさかんで多種多量である ○水産業が豊かである 	<ul style="list-style-type: none"> ○産業が少ない ○雇用が少ない ○若者がむつに戻って働ける場所がない 【農業】 ○農業が不振である 【商業】 ○車の無い人が買い物に行ける所がない ○毎日の必需品を買う所がない ○自衛隊の人たちが遊べる場所がない ○夜の町が楽しくない 【工業】 ○家内工業程度はあるが大きな事業所はない
公園・河川・下水道など	<ul style="list-style-type: none"> ○公園がきれいに整備されている 	<ul style="list-style-type: none"> ○都市としての社会資本が未整備である
道路	<ul style="list-style-type: none"> ○市内の道路は比較的整備されており、冬期の除雪もよく実施されている 	<ul style="list-style-type: none"> ○道路整備が進んでいない ○住宅地の道路が行き止まりになっている ○市街地内の水田でミニ開発が行われ、行き止まり道路が多い ○生活道路が整備されていない ○都市計画道路が整備されていない ○地域間道路が整備されていない ○歩道のない道路が多い ○側溝の未整備が多い ○青森市との行き来がしやすい道路がない ○第1次産業のための流通路が十分に確保されていない ○道路整備のための財源の確保

項目	良いところ	悪いところ
公共交通機関		<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道やバスが不便。循環バスが必要 ○田名部のバスターミナルと JR の駅が遠いので、下北駅をターミナル化して欲しい ○下北交通と JR バスの連携（乗り継ぎ）が悪い ○バスの運行本数が減少し、買い物などの移動が不便 ○JR 大湊線が強風により、よく止まるため使いにくい ○まちなかを含め、交通が不便である ○半島であるがため、開発に重要な交通体系の整備が遅れている ○自動車がないと生活できない ○大都市へのアクセスの整備の遅れが、生産地の形成を阻害している
公共公益施設		<ul style="list-style-type: none"> ○用途地域以外に公共施設が移転している ○市役所の跡地が利用されていないなどの市街地内の拠点づくりに計画性がない ○医療施設が質、量ともに不足している。高度医療施設の充実とそこに至る道路整備が必要 ○原燃施設を観光面でもっと生かすべき ○海上自衛隊施設や OB の方を活かして、海洋面での活性化が図れないか ○新むつ市全体を考えた施設の配置ができないか
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ○釜臥山がある ○公害が少ない ○自然と水が豊富 ○海の幸と山の幸が多い ○温泉が多い ○自然に恵まれていて、食料供給の出发点である ○森林の可能性がある ○星空、夜景がきれい ○周辺に自然が多い ○海洋資源の可能性もある ○空気おいしい ○海や山が近く、食べ物が新鮮でおいしい ○四季がハッキリしており、気候がよい 	
観光・イベント	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史がある ○田名部まつりが素晴らしい。子供からお年寄りまでが参加して地域のつながりを感じられる ○地酒などがあり夜の町が楽しい 【固有の観光資源】 ○恐山 ○奥内歌舞伎 ○体験観光ツアー ○関ノ井、地酒 ○水産物 	<ul style="list-style-type: none"> ○恐山等の観光客を市内にとどめられない ○下北以外から観光客を呼ぶための PR が不足している ○むつ市の特産物などを全国にアピールするソフトが整っていない ○地域のアピールするハードはあっても、ソフトが不足している ○「下北でしか手に入らない」というものがない ○家族連れで遊べるような複合的な施設がない ○メディア等を使った PR が不足している ○体験型観光の提案が必要 ○夜の町を楽しくする（ゲーム等の仕掛け）

項目	良いところ	悪いところ
人口・コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ○人口が少ない ○人情に厚い ○犯罪が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○人口が減少している ○人口減少が目立っており、世帯の収入も減少しつつある ○人口増加につながる社会資本が整っていない ○今後の人口減少を考慮したまちづくりが必要 ○人口増加のための産業誘致が必要 ○合併後の町が1つにまとまっていない ○コミュニティが壊れかけている ○他人の足を引っ張ることが多い ○昔に比べて労働力が減っている
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○人柄がよい ○住みやすい ○食糧品は100%の自給率である 	<ul style="list-style-type: none"> ○財政が逼迫している ○街路樹の清掃など地域のリーダーが不在である ○地域の住民性の問題がある

3. ホームページのフォーム入力、メール等で寄せられた御提案等（原文）

意見・提案	住まいの地区
歩道が、市内のあちこちで狭いので、広くしてください。	旧むつ市
人口減少、少子化、超高齢化社会の現状を考えれば、今現在以上の市街地の拡大化は、むつ市の将来にとって好ましいとは思えない。 また、地球温暖化等の環境問題に対し、負荷の低減を図るためにも、森林地帯の環境保全のためにも、市街化調整地域を設定してみてもいかがだろうか	旧むつ市
むつ市民が楽しめるような町作りをして下さい。ほとんどの人は、他の市や町（インターネット）で買い物をしています。今のままでは若い人がどんどんいなくなりますよ！	旧むつ市
2点あります。(1)芦崎湾の向かい側は20年かけて都市公園としてほしい。とりあえず風致地区を適用してはどうか。芦崎湾の景観は数少ないむつ市の財産と思う。(2)下北駅周辺は都市計画の網をかけたほうがよい。商業施設を誘致できればよい。	市外
(1)ワークショップ、パブリックコメント・・・一般市民には何のことかさっぱり分からないでしょう。もっと具体例ややり方、他市の様子など参加してくれる市民が多くなるような説明、工夫をされてはいかがでしょうか。商店街、青年団、農協、NPO、学校・・・もろもろをもっと巻き込んで。住民参加の意欲が街づくりの一番大切な部分なものですから。(2)合併してからずいぶん経つのになぜこんなに見直しが遅れるのですか？なぜ20年後の目標なのですか？都市マスタープランのほかにもどんなマスタープランがあるのですか？それらは実行力はあるのですか？モニタリングはしているのですか？都市計画が街の根幹を担います。ぜひがんばってください。	市外
都市計画の地域は、人が健康で文化的な生活ができる地域となっているが、人が集まってもその地域が都市計画の地域になっていないところがある。たぶん、その地域は、都市計画税もとられていないだろう。同じ市民として不公平感を覚える。人が集まっているところは、都市計画の地域を定めるべきではないか。	旧むつ市
市役所移転後、市役所から北側にある森林地帯は、絶対に市街地化をするべきではないと思う。	旧むつ市
明るい街作りとして、まずは街灯の整備充実をお願いしたい。昨今、エコが叫ばれています。街灯には昔ながらの蛍光管の街灯が多くみられます。夜はただ明かりがあるだけのようにしか感じられない。電気料の経費も多額かなとも思います。最近では信号機も利用されている発光ダイオードがあり、電気料の節約にもつながっていると、新聞等の報道があります。また、イカ釣り船も発光ダイオードの光に移行していつているようです。夜の街を明るくし、経費節約になり、エコにもつながるのであれば、街灯の整備をお願いしたい。そうすることで非行、犯罪防止にも役立つのではないのでしょうか。	旧むつ市
大間・東通村・むつ市リサイクルの施設により、道路整備が現在になって下北に対し急がれている今下北の玄関ともなる柳町交差点に商業施設・観光施設とも建設できるようにし、下北地域の活性化にしてほしい。	旧むつ市
柳町に商業施設ができると喜んでいた一人ですが、できなくなったことを今知りました。なぜか近所の方々に聞いたいろいろな話でしたが、そんなことはおかしい！私たち市民の知らないところでなぜ？私たちは、買い物に車がないとダメなんです。もっと考えて下さい。	旧むつ市
超高齢化社会の現状を考えれば、現在のむつ市の町並みは、私たち柳町地区にすると中央町地区に商店があり、食品にしても買い物に行けず頼んだりしてこの不景気にタクシー代や委託代とかお金がかかります。同じ市民として私たちの地域でも買い物ができるように柳町地区にも商店を頼みます。	旧むつ市
広報のチラシをみました。大畑には数年前にワークショップで策定したプランをベースにした方がよいと思いますが合併しても大畑ブランドは腐る事はないと思いますので、でも文化に関しては不十分です！今ある文化サークルをベースに拡大する事が賢明策だと思いますので？でもここ数年はだいぶ半減しましたので安心して学べる場を提供してくれる事を望みます。 大湊基地とも連携して策定すべきと思います。 もし良ければマスタープランで策定したプラン冊子を贈呈してくれば嬉しいです！ 土曜日は都合がありますので参加出来ませんので次の機会に参加する事が出来ればワークショップ等に参加するつもりですので宜しく願います！これからもどうぞ宜しくお願いします！拙い意見で失礼しました。まずは意見迄。	大畑